

第34回ITER 機構職員募集説明会でのQ&A

1. 日時・場所

平成21年12月1－4日

京都市国際交流会館(第26回プラズマ・核融合学会 展示会場)

2. 来訪者:8名

3. 説明概要:

第26回プラズマ・核融合学会(於 京都市国際交流会館)の展示エリアにおいて、来訪者に資料を配付し、ITER機構職員募集及び登録の案内を行った。(上野ITER協力調整G員、核融合研究開発部門職員)

4. 主なQ&A

Q1:ITER建設地のカダラッシュはフランスのどのあたりですか？

A1:カダラッシュは、南仏プロヴァンス地方にあります。最寄りの国際空港はマルセイユ空港です。マルセイユ空港からカダラッシュまでは70 kmほどあり、車で約1時間かかります。カダラッシュの近くの町としては、南西方向に40 kmほど離れたところにエクサンプロヴァンスがあります。

Q2:ITER機構で働いている日本人はどれくらいいますか？

A2:ITER機構の日本人職員は11月末で、専門職員が22人、支援職員が6人です。

Q3:ITER機構の仕事には、フランス語が必要ですか？

A3:ITER機構における公用語は英語ですので、フランス語は必須ではありません。職種によっては、フランス政府当局や地元との折衝が必要となり、フランス語が必要となる場合もあります。この場合は、Job Descriptionにその旨が要件として記載されます。

Q4:どのような職務経験が求められるのですか？

A4:職務経験については、募集ポジション毎に Job Description に記載されていますので、それぞれ要求される条件を満足する必要があります。一般的に、募集されているポジションと同じ分野等での経験が求められます。ご自身の経歴に照らし合わせて、関連するポジション、可能性のありそうなポジションに積極的にご応募ください。これまでに募集されたすべてのポスト及びその職務内容を下記のURLに掲載していますので参考にして下さい。

http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/koubo/koubo_boshulist_past.html



プラズマ・核融合学会における展示エリアの様子